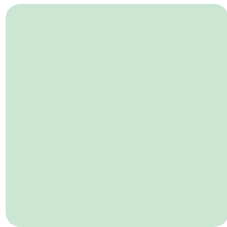
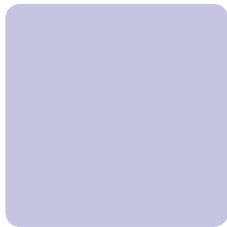
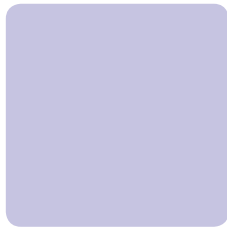
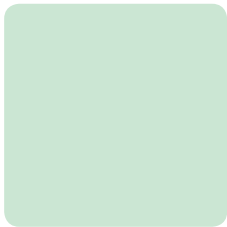


第34期 報告書

平成22年4月1日 ▶▶▶ 平成23年3月31日

翹カネノウ株式会社

証券コード：5979



株主の皆様へ



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により、被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、当社第34期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概況等をご報告申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長 近藤 健治

Review of Operations

事業の概況

事業の経過及び成果

当期におけるわが国の経済は、政府の経済対策による政策効果や輸出を中心とした経済環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調に転じ始めました。一方、円高の進行や長期にわたるデフレ基調と雇用情勢は厳しいままにあり、海外情勢におきましても財政や政情など不安定な状況で推移しました。

このような状況のもと、建設関連業界におきましては設備投資や新設住宅着工などに若干改善傾向が見られるものの、公共投資は縮減が続ぎ建設市場全体としては依然として低水準で推移しました。その結果、売上

高は67億77百万円（前期比0.6%増）となりました。主な製品分類別の状況は次のとおりであります。鋳鉄器材はマンション等の建設がやや増加したことから排水関連製品が改善し、道路等関連製品も堅調でありましたが外構関連製品が減少に転じたことから、22億2百万円（同3.2%減）となりました。スチール機材は福祉関連製品が堅調に推移しているものの、設備工事、土木関連の低迷から外構関連製品の減少が影響し、14億5百万円（同4.4%減）となりました。製作金物は建物の防災需要の高まりや建築需要がやや改善したことから関連する建築金物が増加したことから改善し、26億28百万円（同1.6%増）となりました。その他は海外需要

が改善している建機、機械向け製品が増加したことから、5億41百万円（同34.4%増）となりました。

利益につきましては、年度後半において需要改善の兆しが見られ生産が持ち直してまいりましたが材料価格は高い水準で推移しました。そのような中で販売環境は価格等厳しいままにあることからコスト削減等原価低減に努めてまいりましたが、売上総利益は21億23百万円（同7.2%減）となりました。また販売費及び一般管理費につきましても諸経費の見直し、削減に努め改善いたしました。営業利益は2億40百万円（同24.4%減）となりました。営業外収支につきましては金利が低下したことから受取利息等が減少しました。その結果、経常利益は2億5百万円（同29.6%減）となり、当期純利益は1億2百万円（同39.5%減）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、企業収益の持ち直しや景気の改善が一部期待されましたが、先の3月11日に発生しました東日本大震災により未曾有の被害に拡がったことをうけ、景気の下振れも見込まれ、引き続き不透明感の強い状況となりました。建設関連におきましても着工や進捗への影響は大きなものとなることも考えられます。そうした状況となりましたが経営基盤強化に向け、より一層のお客様の立場に立って品質、機能が維持された製品をお届けし、新製品の開発に注力してまいります。またデフレ環境下にあります。材料価格の上昇が見込まれ、ますます収益環境は厳しいものとなります。生産性の向上、諸経費の低減を進めコスト競争力を高め、業績改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

製品ラインナップ



開発と調和をテーマにしながら。

カネソウでは、鋳鉄、アルミニウム、ステンレス、スチールなどをはじめ各種多彩な素材による高品質で、人にやさしい建築・環境・福祉・緑化・防災・リフォーム・都市景観整備に関連する製品を開発・製造・販売しております。各省庁をはじめ地方自治体、設計事務所などからご採用をいただき、全国の公共建築工事、土木工事、プラント工事はもとより、民間建築物から個人住宅に至るまで幅広くご利用いただいております。

● 主要な取扱品目

雨水排水・防水関連製品	ルーフドレイン、システムドレイン
建築金物	フロアーハッチ、ラインピット、クリーンピット、スクリーナー フロアルーバー、ステンレス製玄関マット、レターボックス
防災関連製品	E X ジョイント、仕口ダンパー、防水板
緑化・造園関連製品	屋上緑化関連製品、ガーデンエッジ、ガーデングレート
環境配慮関連製品	雨水タンク、ソーラータイル、リサイクルウッド製品
外構・街路関連製品	車止め、駐輪パイプ、マンホール鉄蓋、カラー舗装用鉄蓋 グレーチング、カラー舗装用みぞ蓋、U字溝用スリット蓋
プラント関連製品	床板用グレーチング、格子パネル
衛生設備関連製品	グリース阻集器、床排水金物、通気金物、上水道用鉄蓋
福祉関連製品	補助手すり、視覚障害者誘導用マーカー
店舗・オフィス関連製品	パーティション、自動ドアガード

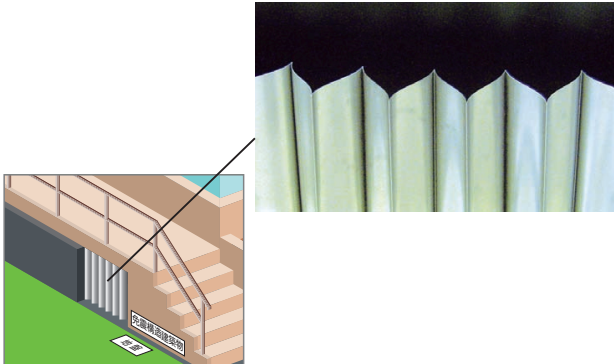
新製品のご紹介

コンパクトタイプ 塗膜防水専用 ルーフドレイン



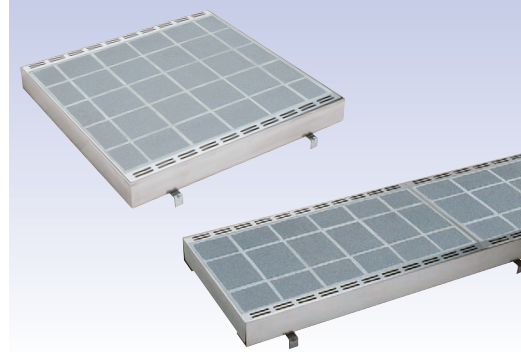
建物のバルコニーや外廊下など排水量の少ない場所に設置するルーフドレインです。塗膜防水専用設計で防水処理が簡単・確実に施せます。外径寸法も従来より一回り小さく、壁際に設置できるため、バルコニーや外廊下のスペースをより有効に使えます。防水及び設置場所を限定した専用設計により、低価格化も実現しました。

免震構造建築用 免震スクリーン



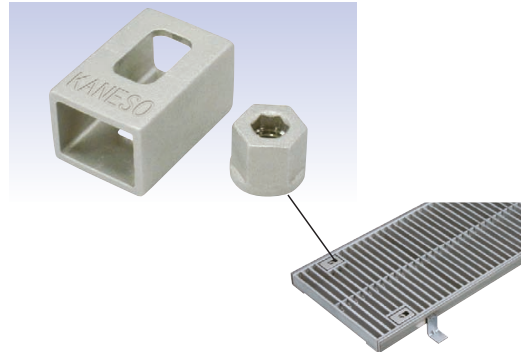
免震構造建築物は地震時に大きく建物が動くため、その動きのための空間である「クリアランス」が設けてあります。このクリアランスに人が挟まれないよう、カバーを設置しますが、このカバーは地震時の建物の動きに追従して破壊しない構造が必要です。免震スクリーンは、薄板ばね鋼の採用により、単純な構造で耐久性と追従性を向上させ、コストも低減したクリアランスカバーです。

プレス排水穴タイプ カラー舗装用みぞ蓋



建物廻りや歩道の舗装空間に設置するタイルなどの舗装材が貼れる溝蓋です。ステンレス材料による溶接組立構造ではなく、主構造をプレス加工で一体成型した、低価格・高品質なオールステンレス製の溝蓋です。新しい構造により、蓋自体の軽量化も図れ、メンテナンス時の作業性も向上します。

ステンレス製グレーチング用 固定機能付ボルトキャップ

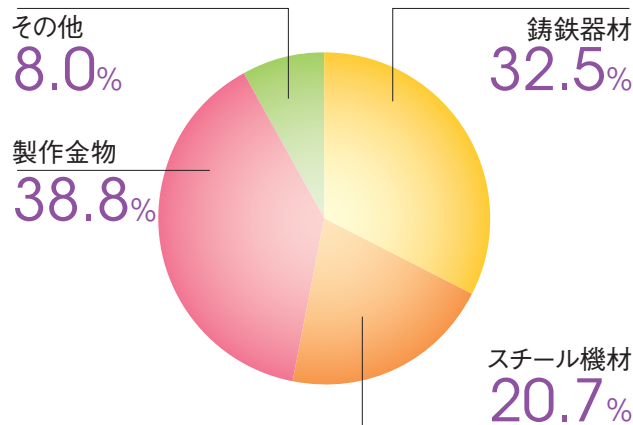


ステンレス製グレーチングにおいて、グレーチングのガタツキや盗難を防止するためのボルト固定式のグレーチング固定部品です。一般的には固定ナット+キャップでグレーチングを固定し開口部を塞ぎ、人の通行をスムーズにしますが、キャップの破損、紛失がより少なくなるよう、固定ナットとキャップを一体構造にした新しい発想のパーツです。

事業の概況

製品分類別の売上高

製品分類	売上高
鋳鉄器材	2,202 <small>百万円</small>
スチール機材	1,405
製作金物	2,628
その他	541
合計	6,777



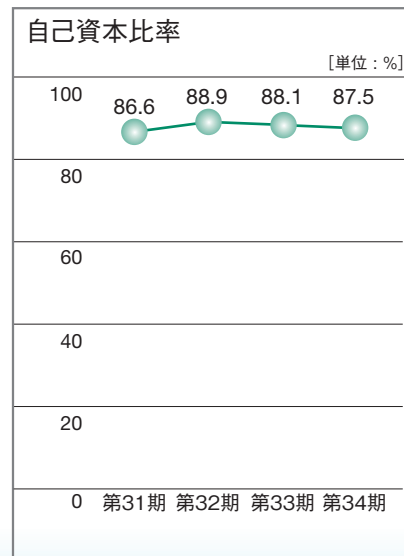
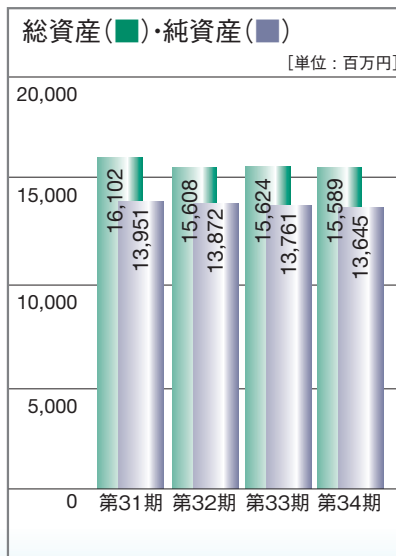
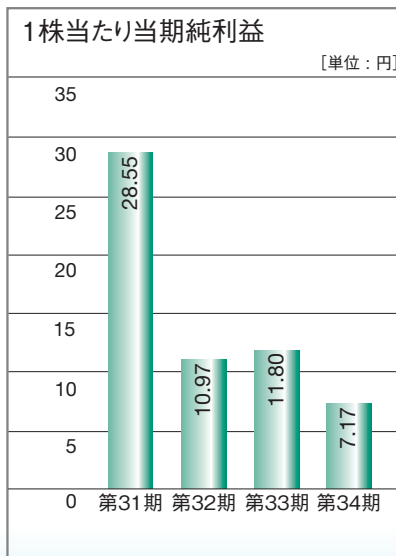
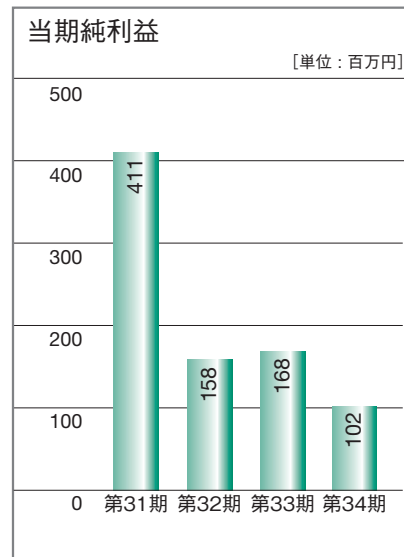
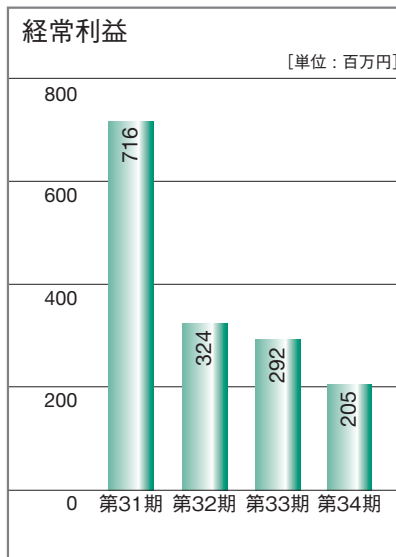
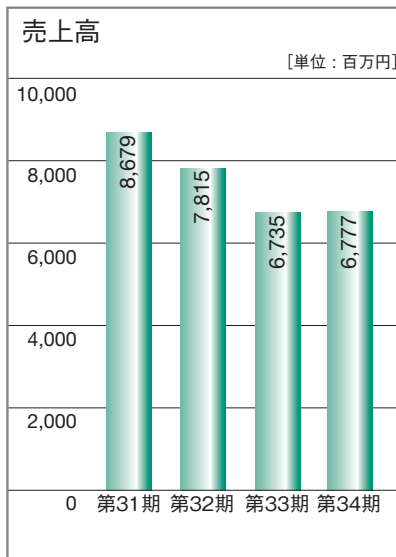
営業成績及び財産の状況

区分	期別	第31期 (平成20年3月期)	第32期 (平成21年3月期)	第33期 (平成22年3月期)	第34期 (平成23年3月期)
売上高 (百万円)		8,679	7,815	6,735	6,777
経常利益 (百万円)		716	324	292	205
当期純利益 (百万円)		411	158	168	102
1株当たり当期純利益 (円)		28.55	10.97	11.80	7.17
純資産 (百万円)		13,951	13,872	13,761	13,645
1株当たり純資産 (円)		968.92	963.52	966.26	958.18
総資産 (百万円)		16,102	15,608	15,624	15,589
自己資本比率 (%)		86.6	88.9	88.1	87.5

設備投資・資金調達の状況

当期中に実施しました設備投資は、工作機械設備の導入、及び金型等1億52百万円であります。
なお、設備投資に要した資金は全額自己資金を充当しております。

決算ハイライト



財務諸表

●貸借対照表 (単位：千円、未満切捨)

科 目	前 期 (平成22年3月31日現在)	当 期 (平成23年3月31日現在)	科 目	前 期 (平成22年3月31日現在)	当 期 (平成23年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	9,461,052	7,655,778	流動負債	632,308	665,747
現金及び預金	6,823,282	3,897,051	買掛金	278,721	359,560
受取手形	546,997	585,320	未払金	99,076	102,309
売掛金	839,305	868,186	未払費用	47,543	46,713
有価証券	200,001	1,200,446	未払法人税等	123,898	87,201
製品	538,085	552,931	預り金	18,217	18,235
仕掛品	84,148	86,497	前受収益	268	302
原材料及び貯蔵品	337,326	381,185	賞与引当金	52,201	50,096
前払費用	6,499	6,519	その他	12,380	1,328
繰延税金資産	56,718	54,327			
その他	29,661	24,330	固定負債	1,230,587	1,278,999
貸倒引当金	△ 975	△ 1,019	退職給付引当金	281,003	293,345
固定資産	6,163,396	7,933,987	役員退職慰労引当金	361,234	376,328
有形固定資産	3,311,769	3,182,814	長期預り保証金	588,349	609,325
建物	952,992	888,512	負債合計	1,862,896	1,944,746
構築物	53,834	45,736			
機械及び装置	476,095	438,443	純資産の部		
車両運搬具	17,393	12,506	株主資本	13,746,985	13,634,993
工具、器具及び備品	62,574	48,811	資本金	1,820,000	1,820,000
土地	1,735,723	1,735,723	資本剰余金	1,320,000	1,320,000
建設仮勘定	13,156	13,080	資本準備金	1,320,000	1,320,000
無形固定資産	7,853	5,461	利益剰余金	10,675,005	10,563,526
ソフトウェア	7,670	5,278	利益準備金	275,400	275,400
その他	182	182	その他利益剰余金	10,399,605	10,288,126
投資その他の資産	2,843,773	4,745,711	別途積立金	9,900,000	9,900,000
投資有価証券	1,266,747	59,978	繰越利益剰余金	499,605	388,126
関係会社株式	10,000	10,000	自己株式	△ 68,020	△ 68,532
出資金	3,600	3,600	評価・換算差額等	14,567	10,025
破産更生債権等	3,529	—	その他有価証券評価差額金	14,567	10,025
長期前払費用	406	310	純資産合計	13,761,552	13,645,019
長期預金	1,100,000	4,200,000	負債・純資産合計	15,624,448	15,589,766
繰延税金資産	201,102	206,382			
投資不動産	174,500	174,500			
その他	99,415	102,940			
貸倒引当金	△15,529	△ 12,000			
資産合計	15,624,448	15,589,766			

● 損益計算書 (単位：千円、未満切捨)

科 目	前 期	当 期
	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	6,735,821	6,777,485
売上原価	4,447,073	4,653,490
売上総利益	2,288,748	2,123,995
販売費及び一般管理費	1,970,630	1,883,649
営業利益	318,117	240,345
営業外収益	74,769	55,917
営業外費用	100,538	90,408
経常利益	292,348	205,855
特別利益	90	1,227
特別損失	8,885	16,508
税引前当期純利益	283,552	190,574
法人税、住民税及び事業税	137,669	90,669
法人税等調整額	△ 22,911	△ 2,238
当期純利益	168,793	102,143

● キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円、未満切捨)

科 目	前 期	当 期
	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005,707	346,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,343,987	△ 659,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 284,861	△ 214,103
現金及び現金同等物の増減額	△ 623,141	△ 526,230
現金及び現金同等物の期首残高	1,746,423	1,123,282
現金及び現金同等物の期末残高	1,123,282	597,051

● 株主資本等変動計算書 (単位：千円、未満切捨)

当期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

項 目	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計		
平成22年3月31日残高	1,820,000	1,320,000	10,675,005	△ 68,020	13,746,985	14,567	13,761,552
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 213,622		△ 213,622		△ 213,622
当期純利益			102,143		102,143		102,143
自己株式の取得				△ 512	△ 512		△ 512
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△ 4,541	△ 4,541
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 111,478	△ 512	△ 111,991	△ 4,541	△ 116,532
平成23年3月31日残高	1,820,000	1,320,000	10,563,526	△ 68,532	13,634,993	10,025	13,645,019

会社の概要 (平成23年3月31日現在)

- 商号 カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
- 本社所在地 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
- 電話番号 (059) 377-4747 (代表)
- 設立 昭和54年10月23日
- 資本金 1,820,000,000円
- 事業の内容 建設用金属製品の製造・販売
- 従業員数 248名
- 支店 東京支店 (東京都港区)
- 営業所 大阪営業所 (大阪市中央区)
仙台営業所 (仙台市青葉区)
福岡営業所 (福岡市博多区)
- 工場 朝日工場 (三重県三重郡朝日町)

役員 (平成23年6月28日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役名誉会長	小林 昭三
代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	近藤 健治
専務取締役	南川 智之
常務取締役	林 正嗣
取締役	森 洋
取締役	水谷 篤夫
取締役	福田 昭人
取締役	伊藤 博幸
取締役	清水 竜生
取締役	豊田 悟志
常勤監査役	米倉 義喜
常勤監査役	服部 誠行
監査役	大竹 雅司
監査役	木原 昌弥

(注) 監査役大竹雅司及び木原昌弥の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況

- 1.発行可能株式総数 40,000,000株
- 2.発行済株式総数 (自己株式を除く) 14,240,555株
- 3.株主数 724名
- 4.上位10名の株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数 千株	議決権比率 %	持株数 株	出資比率 %
小林 正和	3,150	22.13	—	—
小林 昭三	2,500	17.56	—	—
小林 誠子	2,500	17.56	—	—
小林 裕和	1,000	7.02	—	—
小林鑄造有限会社	750	5.26	—	—
榊原 静枝	450	3.16	—	—
神谷 布左子	450	3.16	—	—
株式会社三菱東京UFJ銀行	156	1.09	—	—
株式会社百五銀行	156	1.09	15,000	0.00
カネソウ従業員持株会	139	0.97	—	—

(注) 1.上記のほか、当社保有の自己株式159千株があります。

2.当社は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ (株式会社三菱東京UFJ銀行の持株会社) の普通株式38,500株 (出資比率0.00%) を保有しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 (〒460-8685) 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部

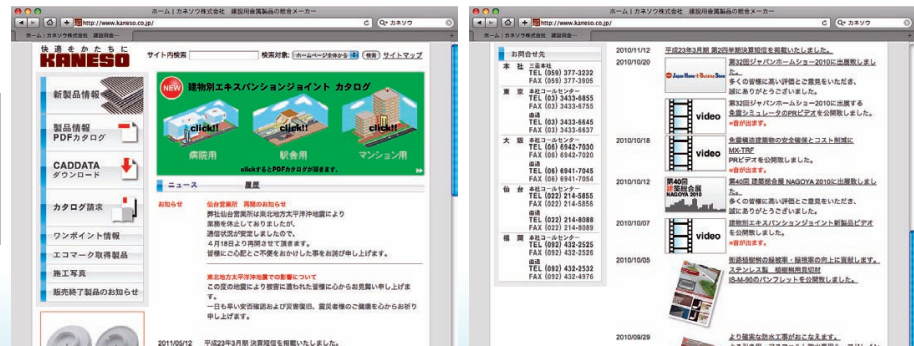
〔郵便物送付先〕
〔電話照会先〕

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

HPもご覧ください！
<http://www.kaneso.co.jp>



KANESO

ホームページアドレス

<http://www.kaneso.co.jp>



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。